

ユリシーズ弦楽四重奏団

NEWS

6/11(日) 17(土) 日本デビュー公演 神奈川県民ホール小ホール

大阪国際室内楽コンクールで見事第2位を受賞！

一柳慧も大阪に駆けつけ、ニューヨークから来日中のメンバーを激励！



6月に国際的作曲家・一柳慧のプロデュース公演で日本デビューを果たすユリシーズ弦楽四重奏団が、権威ある大阪国際室内楽コンクールに出場。若々しくも圧倒的な表現力と卓越したテクニックを兼ね備えた素晴らしい演奏を披露し、見事第2位を受賞しました。一柳慧も大阪に駆けつけメンバーを激励。6月の公演に期待が高まります！

写真左から：コリン・ブルックス(ヴィオラ)、グレイス・ホー(チェロ)、クリスティーナ・ブーイ&ライオン・バーナート(ヴァイオリン)、一柳慧(プロデュース)

MESSAGES

難しい現代曲でも、彼らならワクワクするような演奏を聞かせてくれる。 一柳慧
ユリシーズ弦楽四重奏団は素晴らしいアンサンブルです。一人一人がソリストとしての十分な実力を持ちながら、カルテットとしても、卓越した技術に裏付けられた精緻なアンサンブル表現を兼ね備えた驚くべき存在と言えるでしょう。その隅々まで極め尽くされた演奏は音だけにとどまらず、弓の持ち上げ方一つをとっても、4人の音とゼスチャーが見事にそろい、見た目にも楽しい演奏を聞かせてくれます。素顔は非常に明るく、ウィットに富んだ若者たちで、その性格が音楽に反映されています。難しい現代曲でも、彼らならワクワクするような演奏を聞かせてくれることでしょう。



©Koh Okabe



世界最高水準のトレーニングを受けた強者たち 大山平一郎 (ヴィオラ) 6/17 共演
昨年9月、カユガ室内管弦楽団(アメリカ・ニューヨーク州エセカ市)に客演指揮者として招かれた時に、若い一人の素晴らしい奏者と出会いました。コンサートマスターを務めたクリスティーナ・ブーイさんは20代の若さでありながら、技術は勿論の事、素晴らしい表現力を持って演奏するその音楽性には、稀にしか感じられない出会いを感じました。ユリシーズ弦楽四重奏団のメンバーも、現時点で考えられる世界最高水準のトレーニングを受けた強者が揃っています。私も参加するベートーヴェンの弦楽五重奏はクラシック様式の中にある名曲ですが、若く活力溢れる奏者たちが、どのように難しい古典に取り組むか、大いに期待したいところです。どうぞお楽しみください。

ニューヨークの音楽、世界を存分に感じたい。 飯野明日香 (ピアノ) 6/17 共演

アメリカ、ニューヨークで活躍中、これからの活動にも期待が膨らむユリシーズ弦楽四重奏団との共演は、沢山の刺激と新しい発見に満ちたものになることは間違いありません。今のニューヨークの音楽、世界を存分に感じながら、5名で一つの作品を作っていくことを心から楽しみにしています。



アメリカ、そして世界の音楽を辿る旅へ。 ユリシーズ弦楽四重奏団

ユリシーズというグループ名は、ホメロスの叙事詩『オデュッセイア』に登場する英雄オデュッセウス(英語でユリシーズ)に因んでいます。私たちは旅をテーマにしたこの作品に魅了され、私たち自身の音楽の旅という意味を込め、この言葉を選びました。6/11のプログラムは、アメリカ音楽を辿る旅です。いずれもエモーショナルな作品で、アメリカ音楽の多様な魅力を感じていただけたと思います。6/17のプログラムでは、アメリカ、ロシア、ドイツ、そしてアジアを旅します。一柳慧さんの作品にも取り組みます。音楽を味わい楽しむのに、言葉は必要ありません。時代やスタイル、場所も異なる様々な作品をお楽しみください。横浜で皆さんにお会いできることを楽しみにしています。